

■ 1班 課題2 望ましい学校規模と教育環境

教育方法

都会と変わらない
教育と機会

小中一貫校に
よる教育

体験学習の
充実

自分たちで知恵を絞り
汗をかいて築く

クラス人数

30名/組

競争勝負も必要
2クラス/学年以上

望ましい規模
はない
順番が逆

地域との関わり

地域コミュニティ
(町内会等)
との結びつき

個別に特殊なもの
(踊りや伝統文化)

■ 2班 課題2 望ましい学校規模と教育環境

学級数

複数学級

2～3のクラス
3の方が良い

クラスに馴染めない子が次の学年で違う子たちと知り合えるようにクラスは2～3クラス欲しい

学校数

手法として、小中一貫校や小規模特認校、後の変更もあり

特認校の
存続

小規模特認校を2つ、それ以外の大きな学校を2つ程度が良い

統合であれば
小中2～3校

網走らしさ

【新たな学校】
網走ならではの授業
(広い意味で)

農業・漁業
未来に向けた授業

クラス人数

1学級
25～35名

個別指導以外はクラスの人数には捉われない

1クラスあたり
20人前後程度が良い

人数が多すぎると
(30人以上) 先生の目が行き届かなくなる気がする

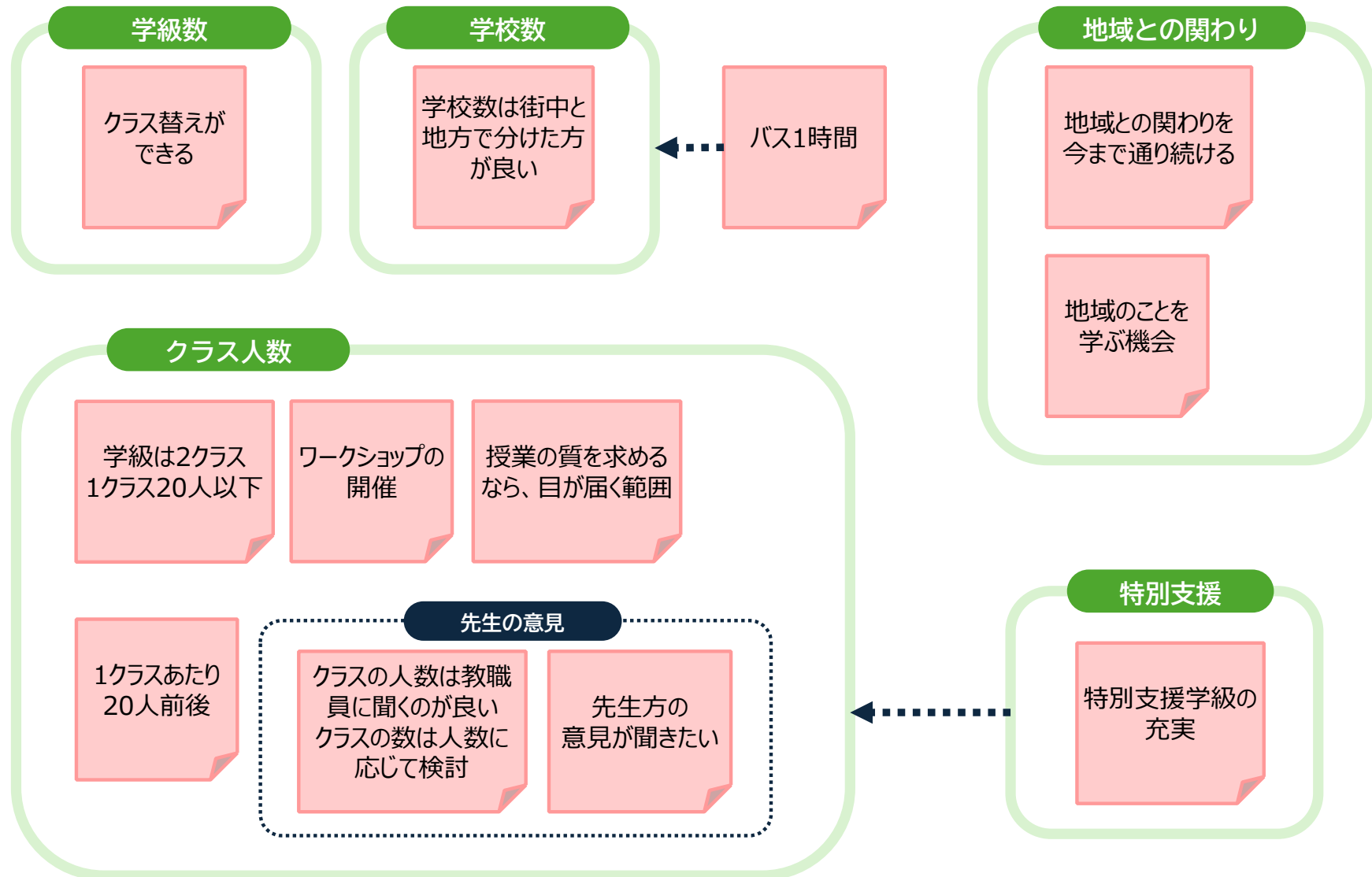
学校の形

9年のカリキュラムを一緒にせず、6・3で呼人のような「小中学校」が良い

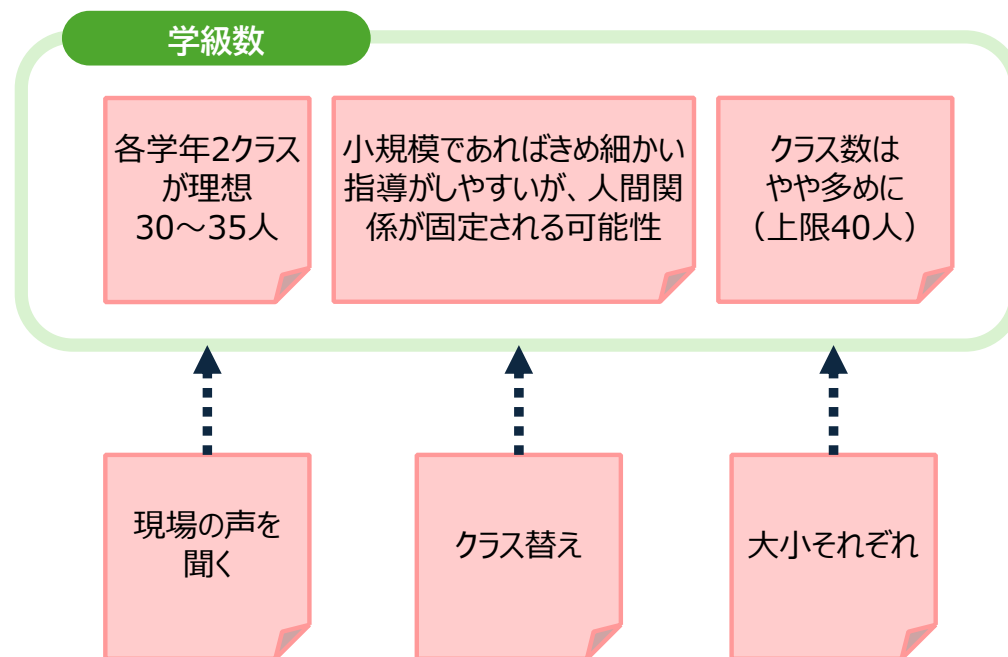
義務教育学校
施設一体型

学校と
児童館

■ 3班 課題2 望ましい学校規模と教育環境



■ 4班 課題2 望ましい学校規模と教育環境



■ 5班 課題2 望ましい学校規模と教育環境

学校数

各学校において
ビジョンがあるた
め、その良いとこ
ろを活かす

学校数は特認
校を含めて3つ
は少ない

教員数の
確保

学級数

単式学級

クラス替えが重要なのでは
なく、「安心できる人間関
係を継続すること」が重要

クラス人数

1クラス20人
未満

1クラスあたり
の人数は教職
員数によっても
変わる

地域との関わり

地域コミュニティと
の結びつきを重視

数字には見えない学習・学びがある
小規模特認校には地域コミュニティ
防災拠点考えた位置づけ

教育の質

教育の質とクラス
数・学校規模は
関係ない

教育の質
教育方法が
大事

選べる教育の
形

一人ひとりに目
が届く個別指導
が望ましい

学校形態

【大規模校】
地域・家庭との関
係性、行事・会議
に参加しづらい

【小規模校】
学力が高い
いじめが少ない
不登校が少ない

小中より中高一貫
校(特進クラス、給
食提供)の検討

市外への学力
の高い生徒の
流出を防ぐ